

熊本矯正歯科研究会

NEWS LETTER

平成 30 年度（春季）

事務局：きょうごく矯正歯科・小児歯科クリニック内
〒862-0963 熊本市南区出仲間
TEL 096-334-6055 FAX 096-334-6057



平成 29 年度 熊本矯正歯科研究会（H29.11.4）『和数奇司館ホテル』にて

会長挨拶



熊本矯正歯科研究会会長 やまべ矯正歯科クリニック 山部耕一郎

会員の先生方におかれましては、ご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。2016 年春より、歴史ある熊本矯正歯科研究会の会長を仰せつかって以来、無事 1 期を終えることができました。これもひとえに先生方のご理解とご協力のたまものであると感謝申し上げます。この間、当研究会も 10 周年を迎えることができ、様々な外来講師の先生にもご講演を頂くことができました。また、より現実に沿った方向への会則の改定など、会の在り方についての基盤を固めることもできました。2 年後の 2020 年には、あの熊本地震で延期となった「第 15 回九州矯正歯科学会学術大会（熊本大会）」の開催を控えています。これは九州矯正歯科学会・熊本支部として主宰するものでありますが、熊本矯正歯科研究会がその協力団体として、大会の成功に向けて協力していく所存です。ぜひ会員の先生方におかれましても、熊本が復興する姿をアピールすべく、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

まずは、6月9日に、本会の総会講演会懇親会を予定しています。講演会には熊本大学歯科口腔外科教授であります中山秀樹先生にご登壇していただきます。ご講演の内容は3Dプリンターを駆使した外科的治療のお話しです。かなりリアルに術前のカンファレンスが可能になってきていますので、非常に興味ある内容が聴けると思います。ぜひご参加下さい。これからも会員の先生方に有用な情報を提供して参りたいと思いますので、ご意見やご提案等ありましたらぜひお聞かせ下さい。末尾になりましたが会員の先生方の益々のご健勝を祈念申し上げます。

平成 29 年度後期の主な活動

○ 第 4～6 回理事会

ほぼ月一回のペースで役員会を行っています。2017年10月23日に第4回、2018年1月22日に第5回役員会を開催しております。2018年3月12日第6回役員会は諸事情により中止となりました。

2017年11月4日に堂島ペリオインプラントセンター 浦野智先生をお招きして、平成29年度熊本矯正歯科研究会を開催しております。

今年度後期の理事会主旨

- ・11月4日の講演会詳細について検討、確認
- ・2018年総会講演会について、開催場所、日程、ご講話を依頼する講師について相談
- ・九州矯正歯科学会熊本大会準備委員会における協力体制について検討
- ・6月の歯の祭典について検討
- ・次期会長、幹事、役員について検討

○ 平成29年度熊本矯正歯科研究会 講演会(2017年11月4日)



『成人矯正を安全に行う上で必要なペリオの考え』

堂島ペリオインプラントセンター 浦野歯科診療所 院長 浦野 智 先生

矯正治療において気をつけるべきペリオの考え方、治療の進め方についてとても分かりやすく御講話いただきました。矯正治療を行う前に歯周治療を徹底すること。基本検査として連携する矯正医にもプローブを使用してもらっていること。歯肉退縮が著しいケースにおいて、歯肉形成術により歯肉退縮の改善等が強く印象に残っております。講話中、関西弁で終始面白おかしくご講話いただき、二時間の講演時間はあっという間に過ぎてしまいました。

懇親会スナップ



和やかなムードの中、事務局の京極和彦先生、山部耕一郎先生の会長挨拶、御講話いただいた浦野智先生のお言葉に始まり、篠原直幸先生の乾杯により、賑やかに祝賀会が開催されました。

歓談中、2名の新入会員(岩田浩志先生・木崎衣吏子先生)から自己紹介をしていただき、分山英次先生の万歳三唱により、盛会のうちに閉会しました。

今後の予定とお知らせ

- ・ 平成 30 年 6 月 9 日(土)に平成 30 年度熊本矯正研究会総会・講演会を行います。懇親会も予定しておりますので、スタッフの方もお誘い合わせの上ぜひご参加ください。

講演会抄録

会員発表



『開業から1年経過して』

ひかり矯正歯科 院長 平良 幸治 先生

僕は沖縄県那覇市で生まれ、育ち、雪も見たことがないので雪に憧れて北海道医療大学に入学しました。最初の3年は大雪があっても苦痛ではなかったのですが、3年をすぎると苦痛に感じました。大学時代から矯正の魅力を感じ、その結果、沖縄に近い鹿児島大学院に入学し、最終的には沖縄に帰り、開業する予定でした。しかし、鹿児島大学院に付き合った女性と(現在の妻)10年の交際を経て結婚し、開業をする場所を妻と相談をしました。妻は転勤家族で熊本にも住んでいたことや義理の兄が熊本で開業している観点から開業は沖縄ではなく、熊本に決まりました。これから熊本にずっと住む予定だったので不安や矯正の患者がくるか心配でした。開業から1年経過したことの思いをお話します。

特別講演



『口腔外科領域における実物大立体模型の臨床応用と3D技術の有用性について』

熊本大学大学院生命科学部歯科口腔外科学講座 中山 秀樹 教授

近年の3D技術の進歩は目覚ましく、歯科のみならず医科の様々な医療分野で3D技術が応用されている。例えば、手術器具の位置情報をCTやMRの画像情報に重ね合わせて画面表示し外科手術を支援するナビゲーションシステムを用いて手術を行えば、解剖学的にアクセスの難しい部位であっても、安全に手術を行うことが可能である。このナビゲーションシステムは、特に脳神経外科や耳鼻咽喉科の領域で用いられている。一方、術前に3Dプリンターで実物大立体模型を作製しておけば、手術前のシミュレーションが可能となり、手術の安全性が向上し手術時間の短縮にもつながる。なお、上述のナビゲーションシステムや3D模型による手術支援は保険適用となっている。

現在、熊本大学医学部附属病院の歯科口腔外科では、主に顎変形症や口腔腫瘍の患者に対して実物大立体模型を3Dプリンターで作製し、診断と治療に利用している。今回、これまでに当科で実物大立体模型を用いて治療を行った症例を整理した。口腔外科領域において、3D模型やナビゲーションシステムなどの3D技術がいかに有用な技術であるか、症例供覧を通して紹介する予定である。

(編集;広報担当理事 上村裕希)

熊矯ホームページは、 <http://kumakyouseiken.com/>

熊本矯正研究会のニュースレターはホームページからもご覧できます。是非ご覧くださいませ。
会費未納の会員の先生方は早急に納入くださるようお願い致します。